

2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社コヤマ・ミライエ 上場取引所 東
コード番号 405A URL <https://www.koyama-miraie.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 小山 武
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 鈴木 雅人 (TEL) 054-260-7410
定時株主総会開催予定日 2025年12月23日 配当支払開始予定日 —
発行者情報提出予定日 2025年12月25日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期の業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	7,813	13.6	121	△53.8	104	△59.1	72	△59.5
2024年9月期	6,875	16.2	262	736.5	256	890.6	178	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	360.84	—	16.6	6.2	1.6
2024年9月期	890.64	—	57.6	16.5	3.8

(注1) 当社は、2025年6月16日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。
前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

(注2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	1,624	470	29.0	2,353.61
2024年9月期	1,741	398	22.9	1,992.77

(参考) 自己資本 2025年9月期 470百万円 2024年9月期 398百万円

(注) 当社は、2025年6月16日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。
前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	△56	△50	△74	701
2024年9月期	263	△50	60	882

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2026年9月期(予想)	0.00	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,536	△3.5	107	△11.6	100	△3.9	69	△4.4	345.02

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期	200,000株	2024年9月期	200,000株
② 期末自己株式数	2025年9月期	一株	2024年9月期	一株
③ 期中平均株式数	2025年9月期	200,000株	2024年9月期	200,000株

(注) 当社は、2025年6月16日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復傾向が続いており、個人消費には持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、米国の通商政策による世界情勢への影響などが景気の下振れリスクとなり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社をとりまく経営環境としては、我が国の中古車業界について、当事業年度における国内中古車登録台数は6,517,249台となり前期比100.6%の結果となりました。一方、新車登録台数は4,587,033台となり前期比102.6%の結果となりました。（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ・一般社団法人全国軽自動車協会連合会統計データ）特に2025年1月～6月の新車登録台数は2,345,461台（前年同期比110.2%）と、大幅増加を示しており、これが中古車市場にも間接的な影響を与えています。新車の登録台数は、下取りや買取による中古車の供給増加につながり、結果的に中古車相場下落要因となっています。依然、高水準ではあるものの、2025年の中古車オークション市場では、価格下落が鮮明となっています。主要取引先である（株式会社ユー・エス・エス）中古車オークションの平均成約価格は、2月の126.0万円をピークとして継続的に下落し、5月には118.4万円まで下落しました。価格下落と並行して成約率も低下傾向にあります。そのため、今後とも中古車だけでなく、新車の登録台数の動向について注視することとしております。

このような市場環境の中で、中古車オークション相場は不安定であります。当社としましては、「日本全国のカーオーナーに『KOYAMAの価格を知る文化』を提供し、愛車を安心して売却できる新たなスタンダードを確立する。」をモットーに新規顧客の獲得、自動車買取台数の増加に注力しました。

その結果、当事業年度において、買取台数7,295台（前期比107.7%）と過去最高の台数となりました。当事業年度売上高は7,813,525千円（前期比13.6%増）となり、営業利益は121,184千円（同53.8%減）、経常利益は104,896千円（同59.1%減）、当期純利益は72,167千円（同59.5%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は1,263,324千円となり、前事業年度末に比べ97,532千円減少いたしました。これは、現金及び預金の減少180,820千円、売掛金の増加76,544千円、商品の減少20,643千円、未収還付法人税の発生22,560千円が主な変動要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は361,542千円となり、前事業年度末に比べ18,915千円減少いたしました。これは、有形固定資産の減少2,436千円、無形固定資産の減少3,881千円、繰延税金資産の減少13,063千円が主な変動要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は535,746千円となり、前事業年度末に比べ111,356千円減少いたしました。これは、未払金の減少25,445千円、未払法人税等の減少82,620千円が主な変動要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は618,397千円となり、前事業年度末に比べ77,259千円減少いたしました。これは、長期借入金の減少79,298千円が主な変動要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は470,722千円となり、前事業年度末に比べ72,167千円増加いたしました。これは、利益剰余金の増加が変動要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は701,938千円となり、前事業年度に比べ180,820千円減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は56,242千円（前期は263,492千円の獲得）となりました。これは主に、税引前当期純利益の減少148,200千円、売上債権の増加76,544千円、法人税等の支払額124,846千円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は50,185千円（前期は50,411千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出46,456千円、保険積立金の積立による支出4,530千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は74,391千円（前期は60,900千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出62,624千円、上場関連費用の支出8,300千円によるものです。

(4) 今後の見通し

当社の主力事業である中古車市場については、価格下落局面に入りながらも、市場規模は安定的に推移しています。新車供給の回復、海外輸出環境の変化、デジタル化の進展など、複数の構造変化が同時に進行しており、従来の市場サイクルとは異なる動きを見せています。今後の中古車市場は、従来の所有から利用への転換、デジタル技術の活用、環境対応車への移行など、多面的な変化を通じて新たな段階に入ることが予想されます。

この予測を踏まえ、当社は様々な状況の変化を適切に把握し、戦略的に顧客への積極的なアプローチ、リピート率の向上、新規顧客獲得に向けた営業活動、AI活用などデジタル化の加速と経営効率の向上を進めてまいります。

これらの前提のもと、2026年9月期の業績予想は、売上高7,536百万円、営業利益107百万円、経常利益100百万円、当期純利益69百万円を見込んでおります。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で財務諸表を作成しております。

なお、将来のIFRS（国際財務報告基準）適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	882,759	701,938
売掛金	21,024	97,568
商品	439,349	418,706
貯蔵品	560	435
未収還付法人税等	—	22,560
前渡金	1,099	3,758
前払費用	15,218	16,466
その他	846	1,889
流動資産合計	1,360,857	1,263,324
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	181,147	174,611
構築物(純額)	25,368	25,916
機械及び装置(純額)	4,130	3,570
車両運搬具(純額)	7,893	12,198
工具、器具及び備品(純額)	9,803	5,174
土地	71,284	71,284
リース資産(純額)	7,052	11,487
有形固定資産合計	306,680	304,243
無形固定資産		
ソフトウェア	8,882	5,001
無形固定資産合計	8,882	5,001
投資その他の資産		
投資有価証券	1,285	—
出資金	80	80
長期前払費用	13,218	14,798
繰延税金資産	17,850	4,786
その他	33,746	33,917
貸倒引当金	△1,285	△1,285
投資その他の資産合計	64,895	52,297
固定資産合計	380,457	361,542
資産合計	1,741,315	1,624,867

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,084	7,663
短期借入金	350,000	350,000
1年以内返済予定の長期借入金	62,624	79,298
リース債務	2,787	4,724
未払金	67,875	42,429
未払費用	12,044	10,021
未払法人税等	83,231	611
前受金	7,303	6,586
預り金	3,784	6,454
賞与引当金	12,060	11,389
その他	29,306	16,567
流動負債合計	647,102	535,746
固定負債		
長期借入金	681,707	602,409
リース債務	4,969	7,724
資産除去債務	3,000	3,000
その他	5,981	5,264
固定負債合計	695,657	618,397
負債合計	1,342,759	1,154,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	348,555	420,722
利益剰余金合計	348,555	420,722
株主資本合計	398,555	470,722
純資産合計	398,555	470,722
負債純資産合計	1,741,315	1,624,867

(2) 損益計算書

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6,875,742	7,813,525
売上原価		
商品期首棚卸高	316,614	439,349
当期商品仕入高	6,078,909	6,940,529
合計	6,395,524	7,379,879
他勘定振替高	10,968	1,720
商品期末棚卸高	439,349	418,706
商品売上原価	5,945,206	6,959,452
売上総利益	930,536	854,072
販売費及び一般管理費	668,391	732,887
営業利益	262,145	121,184
営業外収益		
受取利息	71	1,100
不動産賃貸収入	7,632	7,638
その他	2,042	1,987
営業外収益合計	9,745	10,726
営業外費用		
支払利息	11,435	14,265
不動産賃貸原価	4,141	2,510
上場関連費用	—	8,300
その他	—	1,938
営業外費用合計	15,577	27,014
経常利益	256,313	104,896
特別損失		
投資有価証券評価損	3,216	—
特別損失合計	3,216	—
税引前当期純利益	253,096	104,896
法人税、住民税及び事業税	83,231	19,666
法人税等調整額	△8,262	13,063
法人税等合計	74,968	32,729
当期純利益	178,128	72,167

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
当期首残高	50,000	170,427	170,427	220,427	220,427
当期変動額					
当期純利益		178,128	178,128	178,128	178,128
当期変動額合計	－	178,128	178,128	178,128	178,128
当期末残高	50,000	348,555	348,555	398,555	398,555

当事業年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
当期首残高	50,000	348,555	348,555	398,555	398,555
当期変動額					
当期純利益		72,167	72,167	72,167	72,167
当期変動額合計	－	72,167	72,167	72,167	72,167
当期末残高	50,000	420,722	420,722	470,722	470,722

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	253,096	104,896
減価償却費	43,458	32,644
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△617	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,849	△670
受取利息	△71	△1,100
支払利息	11,435	14,265
投資有価証券評価損(△は益)	3,216	—
上場関連費用	—	8,300
売上債権の増減額(△は増加)	35,022	△76,544
棚卸資産の増減額(△は増加)	△122,769	20,767
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,925	△11,178
未払消費税等の増減額(△は減少)	26,237	△12,691
その他	17,472	3,079
小計	254,406	81,768
利息の受取額	71	1,100
利息の支払額	△11,435	△14,265
法人税等の還付額	20,450	—
法人税等の支払額	—	△124,846
営業活動によるキャッシュ・フロー	263,492	△56,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△42,129	△46,456
無形固定資産の取得による支出	△3,289	—
敷金保証金の差入による支出	△2,400	—
保険積立金の積立による支出	△2,593	△4,530
その他	—	801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,411	△50,185
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△36,312	△62,624
リース債務返済による支出	△2,787	△3,467
上場関連費用の支出	—	△8,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,900	△74,391
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	273,981	△180,820
現金及び現金同等物の期首残高	608,778	882,759
現金及び現金同等物の期末残高	882,759	701,938

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、「中古車買取事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	1,992.77円	2,353.61円
1株当たり当期純利益	890.64円	360.84円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 当社は2025年6月16日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期純利益(千円)	178,128	72,167
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	178,128	72,167
普通株式の期中平均株式数(株)	200,000	200,000

4 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	398,555	470,722
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	398,555	470,722
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	200,000	200,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。